

# トラスト協会 ナラ枯れ発生樹木調査

協会 牧野副代表と三好氏

## 被覆材(紙材)中にも穿孔・フラス発見、被覆材効果に疑問

7月21日、牧野副代表と三好さんが13号地でナラ枯れ発生している樹木4本について調査しました。対象は、被覆防除した樹木でナラ枯れ発生しているもの。調査方法は、被覆材にカシナガの穿孔があるもの⇒被覆材をはがして樹木の表面に穿孔の周辺のフラスの状態を調査⇒繊維状と粉状の両方発見⇒越冬したカシナガ

再穿孔したものと推察。(森林総研の見解を覆す出来事)(被覆材に孔をあけたのは外から樹木に穿孔跡ありで紙材はダメだということが分かった)

枯れている樹木の大半は、被覆材の上部位置より高い場所に穿孔しているため現在ではよい対策がない。枯れ具合の少ない樹木に3本に「ウッドキング DASH」を根本から30cm位置全集15から20カ所に注入した。(安)



- ①ナラ枯れ木
- ②紙を剥がし樹皮面観察
- ③紙を破ったカシナガ
- ④枯れが少ない樹木に予防注射し串で塞ぐ
- ⑤新しい侵入孔

